

小鹿野町 議会だより

第78号

令和7年5月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会

小鹿野町議会
HPはこちら→



小鹿野町の小学校がひとつに

Contents

3月定例会	2~6
・令和7年度一般会計予算 主な施策 他	
請願のゆくえ・議員表彰	7
審議結果一覧	8
一般質問	9~12

小鹿野小学校入学式

令和7年4月1日に小鹿野町の小学校4校（小鹿野、長若、三田川、両神）が1校に統合しました。

同年4月9日に入学式が行われ、新1年生が38人加わりました。

6年生代表が新1年生に向けて歓迎の言葉を述べ、新1年生は1人ひとりが真剣な眼差しで上級生の言葉を聞いていました。

過去最高額予算の内容は・・・ 町の政策を問うQ&A

令和7年度予算について、詳しくは小鹿野町HPもCHECK！→



会期は3月4日から10日までの7日間で、会議に付された案件が7日に全て終了したため、4日間で閉会となりました。

町長提出議案が50件、議員提出議案1件が上程され、慎重審議のうえ、町長提出議案は全て可決、議員提出議案は請願1件を否決しました。

主な施策

人口減少にまけない
小さくても輝き続けるまち

・出会い創設モデル事業

(18万円)

「結婚への関心」や「出会いの機会」の創出を後押しするため、町出身者が町内で開催する同窓会やクラス会等の開催をモデル事業として試行的に支援します。

・空き家利活用推進事業

(526万円)

空き家の利用者が行う改修や所有者が不動産業者に支払う仲介手数料、家財撤去などの費用に対して、補助金を交付し支援します。

・新規学卒者等就職支援事業

(336万円)

新規学卒者又は若年移住者が町内企業等に就職した場合に、就職者に対し奨励金を交付することにより、若者の町への定住及び転入を促すと共に、雇用機会の拡大と人口の維持及び増加を図ります。

本町の自然を活かした地域経済の
創出

・シテイプロモーション推進事業

(2500万円)

町の持続可能な発展のため必要不可欠となる、稼ぐ視点（ひと・モノ・金・情報）に基づいたまちづくりの実現にむけ、情報発信体制の構築及び運用を行います。

・観光協会補助事業費

(740万円)

小鹿野町観光協会の運営に対し補助金を交付して支援します。イベント開催、各種パンフレット・ポスターの作成のほか、令和7年度では小鹿野春祭り警備支援事業などに対しても補助金を交付します。

・観光地等公衆便所維持管理費

(270万9千円)

両神国民休養地やグリア園などの観光地に整備されている公衆トイレの維持管理に要する費用です。令和7年度では、国民宿舎両神荘前の公衆トイレの洋式化工事を行います。

かがやく未来へ おがの人づくり

・保育料無償化及び給食費無償化事業

(72万円)

令和7年度から、保育料について無料にするほか、おがの保育所とおがのこども園の給食費についても無料にし、完全無償化とすることで、子育て支援を強化します。

・スクールバス運行事業

(745万8千円)

小学校及び中学校のスクールバス運行に要する費用です。令和7年度からは、小学校統合に伴い、統合となった地域に住む小学生に対してもスクールバスを運行します。

・文化センター施設整備費

(1億8810万円)

小鹿野文化センターの施設改修に要する費用です。令和7年度は、引き続きホール照明設備の改修事業を行います。



令和7年度一般会計予算 前年度比15.5%増 総額85億900万円を全会一致で可決

すべての世代に配慮された
社会保障の充実

・秩父荘管理費

(1億3550万円)

養護老人ホーム秩父荘の施設整備に要する費用です。令和7年度では、引き続き、空調改修事業を進めるほか、秩父荘入居者や小鹿野デイサービスでも使用する浴室及び脱衣室の改修事業を行います。

・小児予防接種費

(1261万3千円)

町単独事業として、受験を控える中学校3年生へのインフルエンザワクチン予防接種への助成を行うほか、子宮頸がん予防接種（HPVワクチン）を中学1年生から高校1年生の希望する男子に対しても助成を行い、更なる感染予防やガン予防を推進します。

・予防接種費

(2516万2千円)

令和7年度から、带状疱疹ワクチン予防接種が定期接種として開始となるほか、定期接種対象者以外にも带状疱疹ワクチン予防接種や高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種などを実施することで更なる健康増進を図ります。

快適で安心して暮らせる
環境の整備

・地域情報化支援事業 (98万円)

社会全体のDXに向け、地域における情報活用を推進する団体の支援を行います。情報活用の推進により、さらに便利な生活や活発な事業活動の実現を通じ、地域活性化を図ります。



・消防施設維持管理費

(8843万1千円)

消防団詰所や防火水槽などの維持管理費です。現在、第1支団が進めている再編・統合を見据え、第1支団第7分団詰所の建設を行うほか、第5支団第2分団管轄内にある防火水槽の修繕事業を行います。



・学校施設整備費

(1億9338万5千円)

学校施設の改修整備に要する費用です。避難所に指定されている小鹿野小学校及び中学校の体育館へ空調設置工事を行うほか、中学校第一体育館の照明LED化事業や第二体育館にある演台の更新を行います。

その他

・合併20周年記念式典事業費

(23万4千円)

旧小鹿野町と旧両神村の合併から20年が経過することを記念して式典を開催します。町の発展のために功績を残した方の表彰などを予定しています。



・町長選挙及び町議会議員一般選挙執行費

(2053万4千円)

町長及び議会議員一般選挙の執行に要する費用です。任期満了に伴い、10月に行われる予定です。

・物価高騰対応重点支援費

(4700万円)

国の物価高騰対応重点支援交付金を活用して、家庭の省エネ家電製品への買換えや防犯カメラ設置に對しての補助事業を行うほか、農業経営者への支援や中小企業等が行う省エネ設備導入への支援を行います。

Q 全体の予算について、過去10年平均で見ても、11億円以上増額になっている理由は。

A 老朽化している施設の整備や電算システムの更新時期が重なったというのが主な理由です。

Q 町の独自財源、税収との関わりについてはどうか。

A 特に税収が増えているということはありませんが、起債が増えております。交付税措置のある有利な起債を使い予算が膨らんだところの力バールとなっておりま。

Q カーシェアリング事業の内容について。

A 町の公用車として使用できるとともに、観光客等が自由に利用出来るように役場庁舎裏に1台設置して事業を行っております。

Q バイクラブフォーラム in 埼玉・おがのの内容について。

A 9月に2日間実施され、経済産業省や二輪車普及安全協会等が主催する全国的にバイクを広めようという取り組みになります。町ではバイクによる町おこし事業を掲げておりますので、ロゴマークを入れた撮影スポットなどの設置を考えております。

【討論】（要約）

【原案に賛成】

次代を担う子どもたちへの投資を！

4番 笠原 義行

本予算案では、総合振興計画に基づき、積極的な推進計画と、既存事業について積極的な見直しや優先順位づけの徹底を図る姿勢は評価いたします。また、文化の薫り高く将来に躍動するまちの実現に向け、バランスのとれた予算案だと感じました。全てはわが町小鹿野、町民のことを一番に、町長の掲げる町民ファーストをあらゆる視点、そして想像力を膨らませ事業化していくようお願い申し上げます。

そして毎回申し上げておりますが、どんな状況であっても、次代を担う子供たち、すなわち、小鹿野の宝やこれから生まれてくるであろうお子様世代への投資は常に大切なことだと感じます。今回の小学校統合も大きなチャンスと捉え、教育環境の更なる整備・充実に向け、ご尽力いただくことをお願い申し上げます。

日々様々な状況が激変する難しい時代だとは思いますが、町長を初め、職員の皆様の英知を集結し、小鹿野町の発展のためご尽力いただくことを期待申し上げ、賛成討論とさせていただきます。

主な条例の改正

小鹿野町子育て支援金支給条例の一部を改正する条例

（令和7年4月1日から施行）

第1子から支給額を一律10万円に

改正前：第1・2子に5万円

第3子以降に50万円

改正後：一律10万円

【討論】（要約）

【原案に反対】

子どもを増やしたいという思いを！

12番 強矢 好光

今までは1子・2子が5万円で、3子以降50万円だったのが、今度は一律10万円支給となる訳ですが、子どもが少ないから多く産んでほしい。そういう目的からこの条例があると思います。そういう中で支給額を一律にして、第3子の金額を下げるのは違うと思います。子を持つ親に話を聞くと、生活していくのは大変なんだという話を聞きます。3人目はなかなか産めないという家庭が多いのだと思います。子どもを増やしたいという思いを考えてもらいたいと思います。

以上で反対討論とさせていただきます。

条例改正

小鹿野町ヘルパーステーション条例の一部を改正する条例

訪問入浴介護事業を廃止

指定訪問入浴介護について、平成30年度末をもって事業は行っており、今回条例が未改正であることを確認したため一部改正を行ったものです。

【討論】（要約）

【原案に反対】

もしもの場合に備えて残すべき！

9番 出浦 正夫

私はそのまま入浴介護の部分を残しておいても何ら問題ないと思います。

訪問介護の業者が全国的に非常に苦境に立たされていて、次々に倒産をしているというような状況があるということを少し述べましたが、もし今、入浴介護を担当している業者が何らかの事情でできなくなつたというようなことになる、最終的には町がやらなければいけないということになるんだらうと思います。

小鹿野町の医療・介護・福祉は、地域包括で全国にも非常に立派なシステムだというふうに長年言われてまいりました。そういったことから、

入浴介護の部分は残しておく必要があると思います。以上をもって反対討論といたします。

【原案に反対】

訪問入浴介護の部分は残すべき！

7番 猪野 武雄

先ほど答弁でありました中で、町内の訪問入浴介護の利用状況ですけれども、11人から15人ぐらい月当たりいるということ、民間事業者で間に合つてるといふことなんですが、いつまた不足が出るかもしれません。

そういった際に即対応するためにも、今回のこの条例を改正しないで、訪問入浴介護事業の部分を残すというのがいいんじゃないかと思っています。以上で反対討論といたします。

小鹿野町尾ノ内自然ふれあい館条例の全部を改正する条例

将来的に指定管理へ

小鹿野町尾ノ内自然ふれあい館および関連施設（水道給水施設、水洗トイレ、シャクナゲ園および周辺園地、駐車場、進入路）における指定管理を導入するため、条例の全部改正を行ったものです。

Q 現行の管理状況は。

A 地元の団体に業務委託という形でやっております。現状に合わせて条例を改正したいのと、指定管理として指定管理者にお任せしたいと考えております。

Q 団体の高齢化が進んでいるが、今回この事業を指定管理に出すことのメリットはなにか。

A 団体に若い方も入ってきており、キャンプ事業をやりたいという話も伺っております。そこで例えば指定管理者が自主事業でそういったキャンプ事業をやる、その収益を地元団体が指定管理者として収受することで、また別の事業に活かせる、尾ノ内溪谷が魅力的な、人を呼べる地域になると考えております。

Q 条例が可決された場合、いつから指定管理が始まるのか。

A 最短では6月議会で指定管理の議案を上程し議決いただいてからということになります。トイレの維持管理等は通年でやっておりますので、4月1日から継続的に委託業務として契約をいたします。地元の準備が整った段階で調整をし、指定管理の委員会にかけお認めいただき、議会に議決いただけた場合、指定管理を受けようという形になるかと思っています。

小鹿野町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例

勤務年数に35年以上の区分を追加

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴い、条例の一部改正を行ったものです。

消防団の退職報奨金の支給区分が追加され、左記のとおりに改正されました。

退職報奨金支給金額表

階 級	改 正 後		現 行
	勤 務 年 数		
	35年以上	30年以上 35年未満	30年以上
団 長	107万9千円	右記 【30年以上】 と同額	97万9千円
副 団 長	100万9千円		90万9千円
分 団 長	94万9千円		84万9千円
副分団長	90万9千円		80万9千円
部長及び 班 長	83万4千円		73万4千円
団 員	78万9千円		68万9千円

※今回改正のあった箇所を抜粋

Q 現時点で勤務年数35年以上の団員がどれくらいいるのか。

A 令和7年3月31日現在で13名となっております。

議会全員協議会

2月10日開催

出席者 議員11名

・町からの報告事項

①施設基準等に係る適時調査の結果について

(小鹿野中央病院指摘事項等)

②秩父荘空調等改修工事について

(追加工事に伴う変更契約)

③旧長若中学校グラウンド宅地分譲計画について (長若区長会要望書)

④国民宿舎両神荘の経営状況等について (内容説明)

⑤学校給食会計の公会計化について (内容説明)

⑥旧両神小中学校共同調理場の譲渡について (内容説明)

⑦物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について (内容説明)

⑧小鹿野町DX推進計画について (内容説明)

2月28日開催

出席者 議員11名

・町からの報告事項

①小鹿野町消防団第1支団第10分団の統合について (内容説明)

②小鹿野町特定地域づくり事業協同組合の現況について (内容説明)

③令和7年度小鹿野町一般会計当初予算の概要について (内容説明)

・その他

①廣徳寺別院の土地建物について (土地建物の寄附)

文化厚生常任委員会

2月7日開催

出席者 委員 5名

議長 1名

説明者 1名

紹介議員 1名

・審査内容

請願第4号 「町の執行部による長若中学校グラウンド宅地分譲計画の進め方に関する請願書」

・会議概要

開会後、会議を一旦休憩し、請願の内容を理解するため協議会を開催しました。説明者から請願の概要説明と、紹介議員から請願に対する意見を聴取した後、協議会を閉会し委員会を再開しました。

討論では「趣旨採択を求める請願であり、住民の意思をどう反映させていくかという請願のため採択すべきだ」という意見などが出ました。その後、委員会において採決を行い、起立全員で「採択すべきもの」となりました。

請願のゆくえ

○町の執行部による長若中学校グラウンド宅地分譲計画の進め方に関する
請願書

請願者 豊原 邦明
紹介議員 岩田 和幸

請願の趣旨

町の旧長若中学校宅地分譲計画について、下記の3点について町長に請願します。

- ①なぜ本計画において、町の執行部が議会に対し、区長の同意を得たかのような発言をすることになったのかを調査してください。
- ②この様なことが起こらないよう、説明会の開催方法など、計画を進める上で住民との合意形成を行うためのガイドラインの策定を求めます。
- ③今回のような重要事項に関する住民投票条例の策定を検討してください。

請願審査

12月定例会で文化厚生常任委員会に付託され継続審査となった本請願は、3月定例会（7日）において委員長が審査結果を報告し、審議の結果、「不採択」となりました。

【討論】（要約）

【原案に対し反対】

3番 高橋 耕也

事業の進め方については町も反省点があると認めており、町長は再度説明会を実施すると公言して、開発予算も本予算には計上されておりませんでした。そんな中で、またこのような調査をかける必要があるとは考えづらいです。

また、住民投票の条例策定を求めています。今回のケースで住民投票を行うべきなのは、過去の執行例から考えるべきです。本町では法で定められた間接民主主義を用いて民主的な手続きとして、住民の代表である議会が計画を審議し、決定しております。機能不全とは考え難いです。

もし、条例が制定され、度々の住民投票が起きた場合、行政の迅速な意思決定を妨げ、長期的な地域発展にとってマイナスとなる可能性があり、とても危険性が高いと考えられます。そして、このような小さな町でのデメリットとして、地域内での争いなど根深い遺恨などが懸念されたり、意見が一部の扇動者や政治団体に偏ってしまう可能性があります。以上のことから反対討論とさせていただきます。

長年にわたり議会の運営及び地域の振興発展に尽くされた功績が認められ、栄誉ある町村議会議員特別表彰を受賞されました。

また、町村議会議長として3年以上在職し、議会の運営及び地域の振興発展に尽くされた功績が認められ、栄誉ある自治功労章を受賞されました。



全国町村議会議長会
町村議会議員特別表彰
埼玉県町村議会議長会
自治功労者表彰
皆本 富男 議員



埼玉県町村議会議長会
自治功労者表彰
加藤 喜一 議員

町村議会議員として20年以上在職し、議会機能の高揚と町民の福祉増進に努め、地方自治の進展に尽くされた功績が認められ、栄誉ある自治功労章を受賞されました。

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議 案 名		議 員 名										
		今井 敏夫	高橋 耕也	笠原 義行	高橋 謙治	高根 保生	猪野 武雄	皆本 富男	出浦 正夫	岩田 和幸	加藤 喜一	強矢 好光
3 月 定 例 会	専決処分の承認を求めることについて （令和6年度小鹿野町一般会計補正予算（第5号））	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町町長及び副町長の給与等に関する条例及び小鹿野町教育委員会 教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町子育て支援金支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●	●
	小鹿野町ヘルパーステーション条例の一部を改正する条例 ※本議案は、可否同数により議長裁決で「可決」となりました	○	○	○	●	○	●	-	●	○	●	●
	小鹿野町尾ノ内自然ふれあい館条例の全部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和6年度小鹿野町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和6年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和6年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和6年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和6年度小鹿野町浄化槽設置管理事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和6年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和6年度小鹿野町営国民宿舎事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和7年度小鹿野町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和7年度小鹿野町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和7年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和7年度小鹿野町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和7年度小鹿野町浄化槽設置管理事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和7年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	令和7年度小鹿野町営国民宿舎事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	辺地に係る総合整備計画を定めることについて	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について（小鹿野町観光商業情報館）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について（小鹿野町みどりの村関連施設）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	工事請負変更契約の締結について（秩父荘空調改修工事）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（玉川 寿々子氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（勅使河原 一郎氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（黒沢 裕幸氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（加藤 功一氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（田嶋 敏男氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（坂本 雄一氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（中込 裕子氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（新井 俊洋氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（高橋 克予氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（富山 保夫氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（高岸 友行氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（守屋 善雄氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	小鹿野町農業委員会委員の任命について（丸山 高司氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
小鹿野町農業委員会委員の任命について（吉田 恭寛氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（分須 亮太郎氏）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（今井 里美氏）	除斥	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
町の執行部による長若中学校グラウンド宅地分譲計画の進め方に関する請願書	●	●	●	○	●	○	-	欠席	○	○	●	

※ 皆本富男議員は議長のため採決に加わっていません(ただし、可否同数の場合は議長裁決となります)。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

町政に対する一般質問

一般質問一覧（質問順）

岩田 和幸 ・森町長の政治姿勢について ・町内にある道路交差点について ・旧長若中学校校庭分譲について ・町の施設の利活用について	猪野 武雄 ・企業誘致に関して ・町民の健康管理に関して ・D X推進に関して ・被災地支援と地域交流に関して ・幹線道路の整備等に関して ・地域公共交通の確保に関して ・教育に関して
高橋 耕也 ・小中学校でのキャリア教育について ・スクールカウンセラーについて ・腰ノ根水害地域改善策の状況について ・町内における防犯対策について ・立地適正化計画について ・空き公共施設の利活用に関して	出浦 正夫 ・町の置かれた状況認識について ・小学校統合に係る条件整備について ・水道行政について ・バイオマス発電所について ・情報・通信行政について ・旧長若中学校校庭について
笠原 義行 ・学校教育について ・統合後の小学校および体育館の利活用について	高橋 謙治 ・地域医療について ・地域おこし協力隊について
加藤 喜一 ・働き方改革について ・町立病院と医療環境について ・教育の完全無償化について ・補助金について	○9～12ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します。（岩田和幸議員の一般質問は、本人の希望により掲載していません。）

町政に対する一般質問

3月
定例会



時代の変革に負けない強く
しなやかな町を目指して

高橋 耕也 議員

小中学校のキャリア教育について

質 実施方法、回数時間など、どのように行われているか、小鹿野町としての目標や工夫などについて形式的なものではなくより深い内容になるよう質問いたしました。

答 第三次小鹿野町教育振興計画の施策方針の一つ「夢に向かう活力の育成」に努めるよう小鹿野町からできる独自性もあるキャリア教育を進めて参ります。

質 スクールカウンセラーについて現在の配置状況やカウンセリング後の生徒の状況について質問いたしました。昨今、全国

的にカウンセリングからすぐに精神科等にいざなう傾向があることから「NHKクローズアップ現代・葉漬けになりたくない」より確認、小鹿野町の状況を確認いたしました。親の意識改革や親の教育を求めました。カウンセラーよりもフレンドリーシップ相談員の増員を求めました。

答 今のところスクールカウンセラーの常駐や増員は考えておりません。フレンドリーシップ相談員は続けていく方針です。

質 腰ノ根水害地域改善策の進捗状況について
腰ノ根水害地域改善策

の進捗状況と今後の方針について質問いたします。
答 埼玉県は県道排水設備の設計を実施し、順次改修工事を実施する。町も回収設計を実施、令和7年度より改修工事を進めていくと考えております。

質 廃校等の利活用について
答 廃校等の利活用が望めなかった場合、取り壊しまでの期間はどれくらいを想定しているか質問いたします。

答 現時点で考えておりますのは、5年で利活用が見込めないときは、その時点で一度判断をし、更に5年延ばすのか、取り壊すのか検討したいと思います。



次代へ歩む 新小鹿野町の創造

笠原 義行 議員



学校教育について

令和7年度から小学校は
一校に統合されます。環境
が急変することで様々な不
安の声も聞かれます。また
小中学校が一校になること
により様々な活動等におい
て期待の声もございます。
そこで以下の点についてお
伺いいたします。

【質】 少人数で学校生活を送っ
ていた児童の心境の変化
に対応するための対応策
を伺います。

【答】 県に対して、加配・
特配の充実や児童の心理
的安心感を確保するため、
閉校となる各小学校から
それぞれ複数の教員の異
動の配慮などを要望をし、
さらに、町独自の対策と
いたしまして、SSW
(スクールソーシャルワ
ーカー) による児童への配
慮や生活指導補助員を今
年度と同人数以上の配置
を行い、よりきめ細やか

な対応を行ってまいりた
いと考えております。

【質】 人数が増えることによ
る学力の低下が懸念され
ますが対応策を伺います。

【答】 統合後の令和7年度は
生活指導補助員9名(2
名増)、学習指導員4名
(1名増)の計13名で支
援していきます。またこ
れまで各小中学校を巡回
配置していたALT、I
CT支援員も令和7年度
は、小中学校にそれぞれ
常駐となり、外国語学習
情報教育において、より
充実した活動が期待され
ます。

【質】 小中学校が一つになり
今まで以上に充実した教
育が期待されますが、今
後の教育方針や新たな取
り組みなど教育長の展望
を伺います。

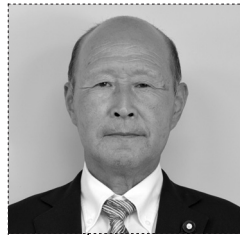
【答】 学校教育の基本理念は
「共に学び合う教育の実
現」です。1点目が、

「社会総参加型、町民総
参加型の教育」です。地
域住民と協力し、力を最
大限発揮した教育を目指
します。これを実現する
為の「町民みんなが先生
制度」というものが先生
制度を進めております。

2点目が「小中一貫教
育の推進」で、9年間の
学びと育ちの連続性を重
視した教育を推進し、小

中学校の教職員間の連携・
意識高揚を進めて、子供
達の学習意欲の向上や中
1ギャップの解消などの
課題解決、そしてより一
体感のある学校教育を目
指します。具体的に町民
の皆様を示せるよう、
「2025小鹿野町の新
しい学校教育」と題し、
リーフレットの作成を進
めております。

【質】 リモートワークの労働
評価について伺います。



これから 小鹿野町について

加藤 喜一 議員

【質】 情報セキュリティや
文書取扱規程の面から業
務には課題が多くありま
す。職員を監督評価する
手立てがないため導入が
実現出来ない状況です。

【答】 町立病院と医療環境に
ついて伺います。

【質】 7つの診療科目で患者
数の減少、診療報酬の改
定により収益は減少傾向
となっております。秩父市

立病院の二次救急当番時
には医師の派遣を行って
いて、新年度から看護師
の派遣も検討、公立病院
間の医療連携は少しずつ
進展しております。

秩父郡市医師会主催で
医療機関の機能分担及び
業務の連携を推進するこ
とを目的とした「地域医
療連携推進法人制度」に
ついて研修会が医療連携
進展のきっかけになって
くれればと思います。小

鹿野中央病院については、
効率化を図るとともに、
2040年以降に在宅医
療のピークを迎えるため、
訪問診療、訪問看護の拡
充を図り、住民のニーズ
に応えて行くことが役割の
ひとつだと考えております。

【質】 全国に先駆け、給食費、
教材費等の完全無償化は
どの程度の予算が必要か、
また実現可能か伺います。

【答】 これまで補助している
給食費などに加え、補助
対象外の教材費やランド
セル、体操着・制服など
全ての費用を算出したと
ころ、年間500万円の
支出が見込まれ、完全無
償化にはあと約4300
万円が必要となります。

【質】 小鹿野高校野球部に関
するNPO団体の補助金
の使途について伺います。

【答】 外部指導者の指導料
一名300万円、宿泊交
通費62万円、交通費6万
7320円、山村留学生
給食費負担分7万7320
円、少年野球教室開催費
8016円その他出陣式
等合計で450万6646
円です。



統合校「鹿小」で 学ぶ子ども達にエールを

猪野 武雄 議員

質 小学校統合を4月に控え、準備は万全と思えます。しかし、300人規模となる小鹿野小学校へ通うこととなる小規模三校の子ども達は、母校の閉校に伴う寂しい思いに加え、新しい環境に不安を抱きながらの新学期となります。

答 長尾根BPは、令和7年度に明かり部の用地買収が始まるとのことです。千束BPは、道路詳細設計等の進捗を勘案の上、用地測量着手を検討予定とのことです。

質 生成AIは、文章や画像の作成などを行う上で大変便利になっています。一方で、フェイクニュースなどのリスクを伴うことになりませんが、対策を伺います。

答 現在、AIを利用し、作られた情報が多くあります。しかし、簡単に真偽を見分ける方法はありません。このため、利用者は、情報を鵜呑みにしないようしっかり検証していく必要があります。

質 町の将来交通体系を西武観光バス小鹿野線とオンデマンドバス・タクシー

質 長尾根バイパス及び千束バイパス整備事業の進捗を伺います。

答 現在、A1を利用し、作られた情報が多くあります。しかし、簡単に真偽を見分ける方法はありません。このため、利用者は、情報を鵜呑みにしないようしっかり検証していく必要があります。



水道料金の 大幅値上げが心配

出浦 正夫 議員

答 今後、ドアツードアを望む高齢者等が増加すると考えます。そこで、利用二スズや運行範囲、運転手の人数及び車両の台数などを含め、総合的な専門的な知見による分析の上で検討を進めたいと思います。

用二スズや運行範囲、運転手の人数及び車両の台数などを含め、総合的な専門的な知見による分析の上で検討を進めたいと思います。

質 水道行政について伺います。水道事業に関しては、現在は秩父広域市町村圏組合で運営しております。令和6年3月に広域組合管理者から「水道料金の改定」についての諮問が水道事業経営審議会に対し行われました。

答 水道事業経営審議会では令和6年12月に51%の料金値上げの改定答申を出しています。広域市町村圏組合の理事・町長のお考えを伺います。

答 答申では、施設・水道管の老朽化対策など計画

的な更新工事の必要性、また将来にわたって安定給水を確保し、かつ将来負担の軽減などを踏まえ、料金改定率は平均51%引き上げることが適当であるとの内容でした。

51%の引き上げにより大幅な料金値上げが見込まれるため、町民の生活に与える影響は大きなものであると考えております。水道料金については、秩父広域市町村圏組合で令和7年度中に審議される予定ですが、組合理事会において住民の負担を

質 軽減するための対策を検討してまいりたいと存じます。

答 値上げ幅を低く抑えるためには、各自自治体が一般会計からの繰入れを増やし値上げ額を抑えていく必要があるが考えを伺います。また、基本料金で運営費の35%を得るとの答申もありますが少量利用者の負担が大きくなります。対策を伺います。

質 基本料金の増額については少量利用者の負担が大きくならないよう検討いたします。料金の値上げについては、一般会計からの繰入れを極力多くして住民負担を軽減するため協議してまいります。





人口減少時代の 地域医療への取り組みを

高橋 謙治 議員

質 地域医療について、今後の人口減少や医療介護従事者の不足により不安を感じる方もあります。

秩父地域全体の包括ケアシステムは、定住自立圏構想で取り組んでいます。中核病院としてしっかりと医療機関が必要になります。

答 建て替えが計画されている秩父市立病院に中核機能を担っていただく必要があると考えますが、状況を伺います。

建て替え協議が始まっている事は承知していますが、秩父市がどのように考えているのかわかりません。秩父地域全体の地域包括ケアシステムの中核病院として機能を果たしてもらいたいと考えており、機会が与えられればお願いし、秩父市長にも建て替え計画が煮詰まる前にお話をしたいと思っています。

ます。

質 医療従事者不足等に対応するため地域医療連携推進法人を設立することについての考えは？

答 メリットとしては、医療従事者の人事交流や患者の紹介、研修、物品購入に関する共同作業についても法人の傘下に入ることでも一層の円滑な実施が期待されます。医療従事者確保は今後益々厳しさを増して行くと考えており、この制度を利用している法人へ昨年6月中旬に訪問し、設立までの流れ等をお聞きしました。6月下旬には1市3町の首長を訪問し、秩父地域での制度の必要性について話をしました。また、11月には勉強会が開催されました。この制度は秩父地域の医療を継続的に提供する上で必要な手段となっていくと考えています。

質

病院機能を低下させないためのコストダウンも考えねばならず、医療材料の共同購入を進めるべきですが？

答

秩父郡市内では病院間の共同購入は実施していませんが、薬剤師会との共同購入は検討したいと思っています。

■議長交際費の公開■ 令和7年2月～3月

2月 9日	小鹿野町歌舞伎保存会新春懇談会 会費	4,000円
2月17日	小鹿野町老人クラブ連合会新年会 会費	5,000円
3月28日	ちちぶ定住自立圏関係者懇談会 会費	6,000円
2月～3月合計		15,000円

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、6月上旬に小鹿野町役場で開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神振興会館（旧両神庁舎）のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



編集後記

春の訪れとともに新年度が始まり、さまざまな施策がスタートしました。議会では活発な議論が行われ、住民の皆様の声を反映すべく日々取り組んでいます。

議会だよりでは、各議案についての議員の考えや討論、決定事項をお伝えし、地域の皆様と共に歩む施策をわかりやすくご紹介できるよう努めてまいります。

皆様のご意見やご参加が、より良い地域づくりに繋がると信じています。ぜひ議会傍聴にお越しいただき、議論の様子をご覧ください。

また、議会だよりへのご意見もお寄せください。今後も議会だよりをよろしくお願いいたします。

▼議会だより編集委員会

委員長	笠原 義行	委員長	加藤 喜一
副委員長	出浦 正夫	副委員長	高橋 謙治
委員	皆本 富男	委員	高橋 謙治